

# グループウェア上でのナレッジリソース 検索システム

(株)リコー  
ソフトウェア研究開発本部  
ユビキタスソリューション研究所  
池上 史郎

## 背景

- 知的業務活動の核となるのは人
  - 業務は人と人の協調作業で実施される
  - 人と人、人と業務を結びつけることは業務を行ううえで重要
    - 業務情報に関することを知りたい
    - 関連するプロジェクトを知りたい
- 企業では情報共有のためにグループウェアを利用するのが一般的
  - グループウェア上での問題解決が課題



このプロジェクト  
に詳しい人は？

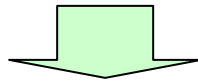
別の部署で同じプロジェクトが  
実施されていた



# 狙い

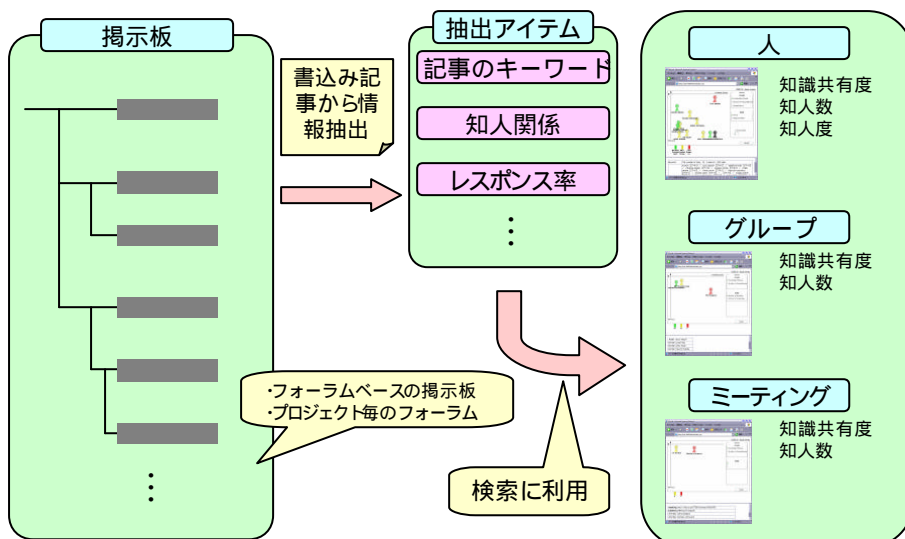
## ■ 狙い

- 知的業務活動のベースになるナレッジリソース(人、グループ、ミーティング等)の結びつきを支援し、問題解決を促進する
- 文書だけでなく業務に関わる情報とその関係を保存・活用



協調作業の場において人、グループ、ミーティング等の情報を活用  
(KnowWho, KnowGroup, KnowMeeting...)

# システム概要



## システムの特徴

RICOH

- 多面的プロファイリング
  - 人、仕事(プロジェクト)、文書情報の連携による特徴付け
  - プロファイルデータの自動解析
- わかりやすい検索結果提示
  - 二次元マップの表示
  - 関連する文書の提示(根拠情報、詳細な情報がわかる)
- セマンティックWebベース
  - OKAR(Ontology for Knowledge Activity Resources)
  - 他サービスとの連携

## 多面的プロファイリング

RICOH

- プロファイル観点
  - 人の持つ知識
    - 掲示板に書き込んだ記事からのキーワード抽出
  - 人の知人関係
    - 同フォーラム内の記事の書込み時期の重なりにより判定
  - レスポンス率
    - フォーラム内における、その人が書いたレスポンス記事の割合

# わかりやすい検索結果提示

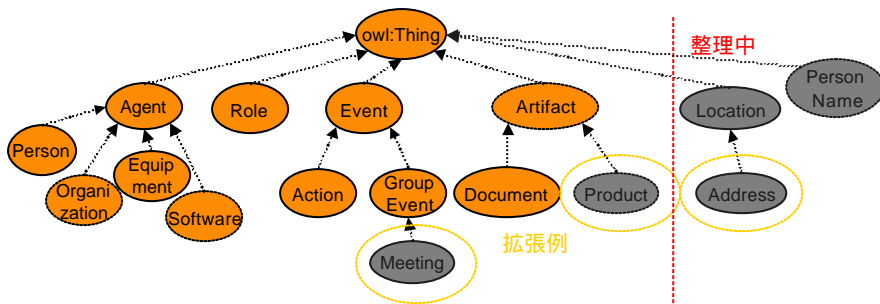
2軸による特徴付け

X軸、色を切り替える事による多面的な特徴付け

パーソナライズされた検索結果

検索対象の詳細情報をOKARにより保持

# OKAR (Ontology for Knowledge Activity Resources) 1/2

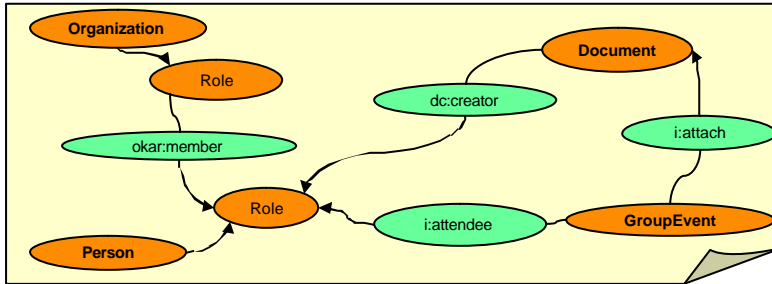


- オフィスにおける一般的な知的業務活動を記述するためのフォーマット
  - 人、グループ、ドキュメント等
  - スキーマ：OWL
  - データ：RDF

リソース記述言語

セマンティックWebにおけるオントロジー記述言語

(株)富士通研究所と共同開発中

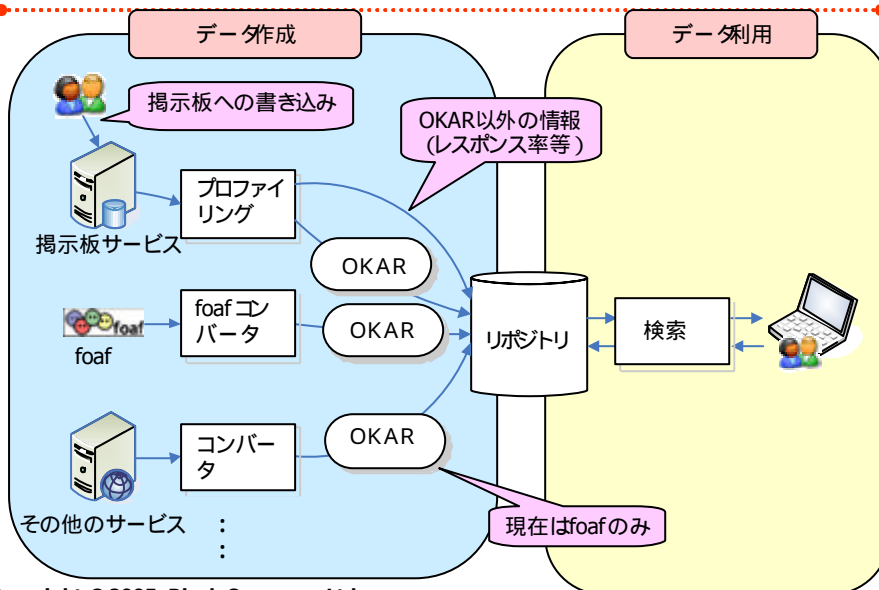


■ 設計方針

- 企業内知識活動を記述するための基本クラスを提供
- 利用者は基本クラスを拡張する形で新規クラスを定義可
- 基本クラスの相互交換性を保証、拡張クラスは上位基本クラスに変換

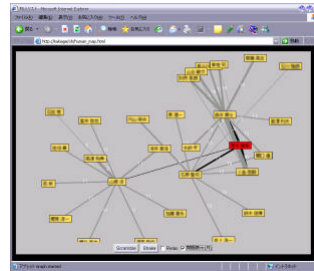
(株)富士通研究所と共同開発中

デモシステム



# 今後の取り組み

- 時間軸の導入
  - “今”一番関わりのあるリソース
  - リソース間の時間的变化
- 根拠情報、他サービス連携の充実
  - リソース間の関係
  - スケジュール管理サービス等と連携
- リソース関連マップ
  - 人・プロジェクト間の関係をマップ化
- OKARの改良
  - クラスの拡充



知人マップ